

おたる 西別院だより

季刊 第85号



「ポピーの咲く頃」

盂蘭盆会

8月15日(金)・16日(土)午後1時30分より小樽別院本堂にて勤修いたします。

お盆参り

8月6日(水)より12日(火)の間でお盆参りに伺います。
(あらかじめハガキにて、参詣日をお知らせいたします。)

納骨堂の読経

8月13日(水)より16日(土)の間は朝8時から夕方6時まで納骨堂での読経を承ります。

盆踊り

8月9日(土)・10日(日)

8月6日(水)より18日(月)まで、月忌参りをお休みさせていただきます。



就任挨拶

本願寺 小樽別院

輪番 たてもり しょうほう
立森 成芳

四月七日付でご門主様より本願寺小樽別院輪番を拝命いたしました。四十余年にわたる宗務歴に自ら終止符を打とうかと思っております。また、この「もう一頑張りせよ」との思しめしと感佩し、有難く拝受いたしました。

前任地は道東の帯広別院でした。平成十三年十一月より、平成二十年三月まで六年五ヶ月間お勤めさせていただきました。帯広は十勝平野の真ん中にあり、広々とした田畑にかこまれていきます。十勝の冬は雪はそれほど多くは降りませんが寒さが厳しくて、以前は零下

四十度近くまで気温が下がったようですが、近年はせいぜい零下二十度ぐらいです。それでも零下二十度になると、空気中の水分が凍って、キラキラと太陽の光に輝いてとつてもきれいです。

そのような極寒の地にもお念仏のご縁はしっかりと根付いていて、昨年十一月に別院創立百周年記念法要をご門主様にご親修いただきました。

このたびは小樽の地でのようなご縁が繋がっていくのか、とつても楽しみにいたしております。家内も一緒に参っておりますの

で、お茶・お華・コーラスなど、みなさまと楽しくご交誼をいただくよう願っております。草原の田舎町から賑やかな港町にやってみたりまして、めずらしいものばかりでうろうろと落ちつきませんが、何卒お念仏のお仲間に入れていただきますようお願いいたします。



「ポピーの咲く頃」を描いて

恵庭から支笏湖に抜ける途中に漁川ダム公園があります。夏のある日、立ち寄った光景を描いたものです。沢山咲き乱れたポピー、メキシカンポピー、コスモス、矢車草など、彩る花になんとも言えない絵心をゆさぶられました。花爛漫のさまを描ければと思います、夏になれば描き、三年かけ仕上げました。

大好きな可憐な花々、私の好きな作品の一つです。

（小樽美術協会展・出品作品100号）
小樽市展委員・小樽美術協会会員
高橋雅子（別院門徒）

表紙に掲載する絵画・写真等を募集しております。

新「教章」を（ご）制定

四月十三日より十五日まで、本山（西本願寺）で「春の法要（立教開宗記念法要）」が修行されました。十五日の法要に引き続きのご親教で、ご門主は新たな「浄土真宗の教章」を述べられました。「教章」は昭和四十二年四月に当時のご門主勝如上人が制定され、その後四十年に亘り「門徒の規範」とされてきました。
 ＊（赤色の日常勤行聖典二頁などに掲載）

宗名	浄土真宗（じょうどしんしゅう）
宗祖	親鸞聖人（しんらんしょうにん）
（ご）開山	ご誕生 一一七三年五月二十一日（承安三年四月一日） ご往生 一二六三年一月十六日（弘長二年十一月二十八日）
宗派	浄土真宗本願寺派（じょうどしんしゅうほんがんじは）
本山	龍谷山 本願寺（西本願寺）
本尊	阿彌陀如来（南無阿彌陀仏）
聖典	・釈迦如来が説かれた「浄土三部経」 『仏説無量寿経』『仏説観無量寿経』『仏説阿彌陀経』 ・宗祖 親鸞聖人が著述された主な聖教 『正信念仏偈』（「教行信証」行巻末の偈文） 『浄土和讃』『高僧和讃』『正像末和讃』 ・中興の祖 蓮如上人のお手紙『御文章』
教義	阿彌陀如来の本願力によって信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還って人々を教化する。
生活	親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿彌陀如来のみ心を聞き、念仏を称えつつ、つねにわが身をふりかえり、慚愧と歡喜のうちに、現世祈禱などにたよることなく、御恩報謝の生活を送る。
宗門	この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、念仏を申す人々の集う同朋教団であり、人々に阿彌陀如来の智慧と慈悲を伝える教団である。それによって、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する。

浄土真宗の教章（私の歩む道）

ご親教（ご門主のお言葉）より一部抜粋

この「教章」は、わが宗門に集う方々に、ぜひ心得ていただきたい浄土真宗の要旨であるとともに、新たにご縁のできた方に、み教えを理解していただくための手引きでもあります。

私たちは、近く宗祖親鸞聖人の七百五十回大遠忌をお迎えいたしますが、この大遠忌を機縁に、先人の方々が身をもって伝えてくださった親鸞聖人のおこころを深く受けとめ、浄土真宗のみ教えを混迷の時代を導く灯火として高く掲げ、人々に広く伝えながら、ともに世の安穩をめざして歩みたいと思います。

この「教章」を身近に備え、折りにふれて参照し、浄土真宗に親しんでくださるよう期待いたします。

二〇〇八（平成二十）年四月十五日

門主 大谷 光 真

前門さま七回忌法要

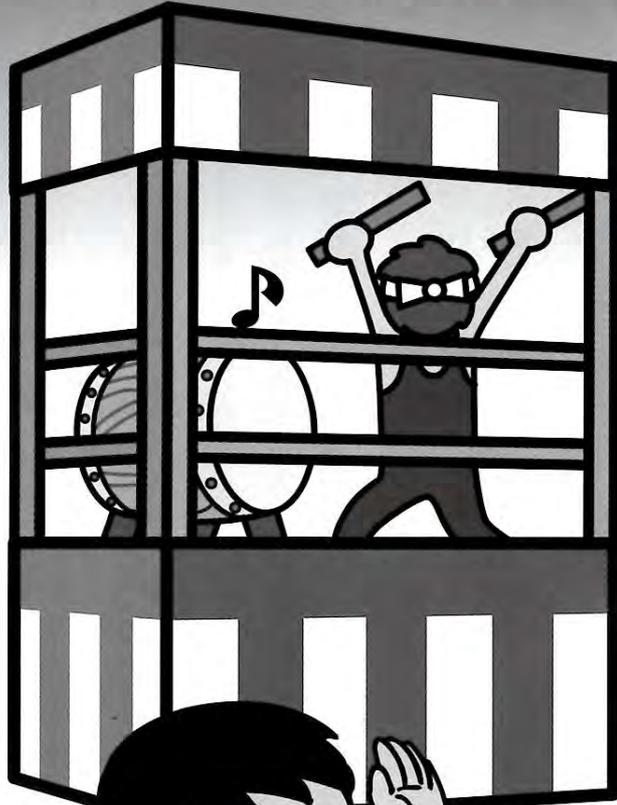
去る六月十一日～十四日まで四日間に亘り、本願寺において、第二十三代宗主勝如上人（前門さま）の七回忌法要が修行されました。

それに伴いご命日の六月十四日、小樽別院に於いても七回忌法要をお勤めさせていただきました。

当日本堂には七〇名の参拝者が訪れる中、午後一時三十分からの法要では、勝如上人の御影の前で輪番が焼香をし、白色のお餅（普段の法要は紅白の餅）をお供えした内陣で表白を読み上げ参拝者と共に正信偈をお勤めしました。



歌って踊る、
みんなの広場 **盆おどり**



18:30 **子供盆踊り** ♪
(子供盆踊り歌)

19:20 **大人盆踊り**
(北海道盆踊り・瀬音額)

20:30 **お楽しみ抽選会**

盆踊りの開催前（夕方）に出店・各種イベントを
予定しております。



8月9日(土)・10日(日)

開催場所
西別院境内

雨天中止

法

話

「目連尊者について」

今号では、目連尊者についてお話をさせていただきたいと思えます。

正式なお名前は目健連(サンスクリット語ではモツガラーナ)ですが、略して目連と呼ばれます。

容姿端麗で頭も非常に良かった方で当時の学問の一切に精通なさっていたと言われています。

仏弟子の長老であった舍利弗と幼なじみで親交も大変深かったそうです。ある日、夏祭りに興じている人々の姿を見て、この

人々は百年後にはみんな、いなくなっていると世の無常を感じたことが出家のきっかけになったそうです。

舍利弗尊者は祇園精舎、目連尊者は東寺(別名鹿子母堂)を建てたことで有名です。

また、神通第一といわれ、好きな所へ行ったり、人の心が解る力があり、その力により死後、苦しみに喘ぐ母の姿を知り、お釈迦様にご相談なされて、百味の飲食を供養することで母を救うお話がお盆の起源となりました。

また、大変体格が良く、お釈迦様の護衛を務められた記録があり、異教徒の迫害や恨みを買う事も多かったです。

お釈迦様の故郷を攻撃しようとしたコーサラ国のビルリ王の軍隊を撃退しようとして、お釈迦様に制止されたこともあったようです。

伝説ではお釈迦様は舍利弗尊者と目連尊者の事を、「善き友よ」と呼ばれていたそうです。

舍利弗尊者と目連尊者の二人の力が、初期の仏教教団において、きわめて大きな役割を果たしたのですが、一人ともお釈迦様より早くこの世を去ってしまいます。

目連尊者は心優しく、力持ちで、人の心がよく解る、そんな人だったんじゃないでしょうか。



港町小樽。

小樽の味を『ひきめ』がおもてなしいたします。

寿し処ひきめ

ご宴会、御法要
仕出し承ります。

本店 小樽市花園1丁目8番1号(花園銀座商店街) TEL (0134) 27-6433
色内店 小樽市色内1丁目10番5号 TEL (0134) 25-1111

学校卒業アルバム制作.出張撮影.各種証明写真.
DPE.カメラ.写真材料.

写真のたかはし

〒047-0034 小樽市緑1丁目5番5号
TEL/FAX (0134)22-8959

ご門徒さんを訪ねて

第5回

猪田板金加工所

住所 千〇四七〇〇三二 小樽市色内三丁目七番四号 電話(二二) 八七九〇番

今回は新光保育園等でもお世話になっている猪田さんご一家を訪ねました。



「うちは子どもが4人、孫が7人。全員が親と同居して居るんです。それが自慢ですね」と笑いながら話して下さったのがお父さん。月参りに伺うと親・子・孫の3世代5人がそろって一緒に参りして下さいます。今では珍しくなった光景です。ありがたいなあと思いつつながらお話を伺って来ました。本

山での思い出はたくさんありますね。御影堂の瓦も夫婦で2枚寄進して来ました。おのみりも受けたし、あとはうちの息子達の番ですね」とお父さんが嬉しそうに話して下さいました。

「このご時勢、みなさん何かと用事があつて、親の代から子の代への相続というか引き継ぐのつてなかなかうまくいかないのが現状だと思つてますよ。そう思うと猪田さん家はすごいですよ」とこちらから話すと、「うちの子が生まれてからなんです」と息子さん

「ごく自然にお念仏が相続された家庭。『そりややっぱ嬉しいですよ』とお父さん。『負いとかはたいしてないですよ。でもこれからはお寺とは末永いお付き合いをね』と息子さんとお嫁さん。『授かりものの命ですから大切にしていきたいですね』とお母さん。仕事の合間にも関わらず応対してくださりありがとうございました。

「京都のご本山へも何回もお参りに行って来ました。本

「取材を終えて」
驚いたのが、亡くなった方をな寺に通してご縁を頂いたお寺と、授かった命が強いという点でした。命が尊いということ、亡くなってから授かっている感じが印象的でした。(森)

お寺のイロハ
〜チベット仏教の特色〜

最近ニュースでも頻繁に取り上げられ、お参りに伺った先でもチベット問題について質問されることがあります。その中から今回はチベット仏教の特色について書かせていただきます。あくまで参考程度に読んでいただきたいと思ひます。

① 経緯
日本の仏教はインドから中国を経

② 僧院について
1959年までチベットの僧院は日本の学校に近い機能を果たしていたそうです。政府やお金持ちの施主が援助し、入学と同時に法名を授かり、2年かけて読み書きとお経を暗記したそうです。その後、医学や絵画工芸、占星学なども学び、学習期間は20年近くになったそうです。学習期間を終えると、ほとんどは一般の職に就き、それ意外はそのまま僧院に残る者、こもって瞑想修行し信者たちを説法する者などに分かれたそうです。

③ 戒律について
日本の多くの僧侶は妻帯を許されていますがチベットの僧侶は結婚・飲酒や喫煙なども禁止されており、仏教本来の戒律や規則・精神を守っているのも特徴です。

④ 思想について
日本では部派仏教・大乘仏教・密教といった具合に一見整合性がないように見える教えを矛盾なく『道次第』という形に整理し、様々な経典の心髄を要約しています。これを頼りに修行を進めることができるそうです。論理性と哲学、慈悲と利他行(自分のためでなく他者のための行)、心身の深層に働きかける瞑想などを兼ね備えた教えであると言えます。

とはいえお念仏のおいわれを聴聞させていただき、社会に適した形で参加し実践していく浄土真宗と、規則を守り道次第に従って修行し、慈悲と利他の教えを実践するチベット仏教と。方法は違えど、社会に目を向けている点では同じお釈迦様の教えの中にあるものではないでしょうか。

宗祖降誕会特集

5月16日

●三園参拝



●双葉高校参拝

5月17日

●双葉中学校参拝



5月18日

●お抹茶・初参式・法要・輪番のご法話
双葉高校吹奏楽部・仏婦コーラス



8月・9月 行事案内

恒例行事

- 盂蘭盆会 日時 8月15日(金)・16日(土)午後1時30分
場所 小樽別院本堂
- 秋季彼岸会 日時 9月20日(土)～26日(金)午後1時30分
場所 小樽別院本堂
- 彼岸会布教 日時 9月20日(土)～26日(金)午後2時～午後3時30分
場所 小樽別院本堂
布教師 山陰教区 千須賀組 浄福寺 小玉教雄師

通年行事

- 総参拝 日時 毎月1日・16日午前6時30分
※毎月16日は、朝のお勤めの後、お粥があります。
- 永代経法要 日時 毎日午前6時30分及び午後1時30分
- 宗祖親鸞聖人月忌法要 日時 毎月15日・16日午後1時30分

常例布教（前期7日～11日・後期13日～16日）

8月

前期 愛媛県園立寺 足利 礼子師
 後期 熊本県護念寺 西 方眞師

9月

前期 兵庫県浄光寺 高崎 正英師
 後期 広島県西善寺 多田 浩司師

3分間の
 心のともしび
 小樽別院



テレホン法話

24時間
 いつでも
 どうぞ

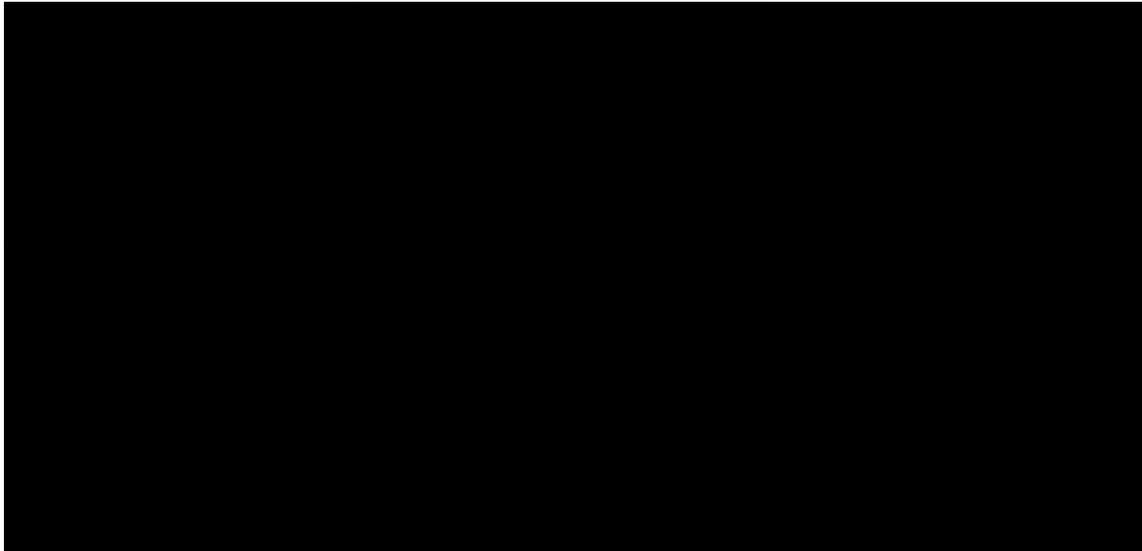
TEL 27-1616

●テレホン法話担当表

8/ 1(金)～15日(金)	山 邊	9/ 1(月)～15日(月)	磯 村
8/16(土)～31日(日)	西 川	9/16(火)～30日(火)	梶

別院門徒物語

（平成二十年三月二日～平成二十年五月末日現在）



退職のご挨拶



このたび、平成20年3月31日付をもって、小樽別院を退職させていただきました。別院に発令をいただきまして12年8ヶ月、ご門徒・ご寺院・職員の皆様方には大変お世話になり、またお育てをいただき、本当に有り難うございました。

武藤 三孝

本堂修復懇志新規進納者御芳名

（平成二十年五月末日現在）

奥村 美東	大居 礼子	小谷 政雄	碓井 正人
坂本 和子	大橋 道孝	小西 英一	渡辺 哲也
		山岸 トミ	佃 洋子
		武埴 榮子	
		(敬称略)	

別院だより第84号の訂正

前号（第84号）におきまして誤字がございましたので、お詫びして訂正させていただきます。

● 3頁「お寺のイロハ」より

・ 中段八行目

誤 「真西に十億万の殺」

正 「真西に十億万の刹」

・ 中段十二行目

誤 「真西へ十億万の殺」

正 「真西へ十億万の刹」

・ 中段十三行目

誤 「弥陀の浄土である」

正 「弥陀の浄土である」

・ 三段め十三行目

誤 「讃仏絵」

正 「讃仏会」

● 7頁 新入職員挨拶より

誤 「下田麻美事務員」

正 「下田麻実事務員」

編集後記

親鸞聖人降誕会も終わりましたが、なかなか気温が上がらず寒い日が続いております。この第85号が配られる頃には、北海道らしい気持ちの良い夏であってほしいと思います。これからも皆様に喜んで読んでいただける機関誌を作りたいと思っております。ぜひ、編集委員まで、ご意見、ご感想をお寄せください。

編集委員

門徒委員

平田 晴己
竹澤 知恭
宮本 和枝
福川ヨシ子

別院担当者

森本 一燈
温井 卓生
森 敬信

連絡先

本願寺小樽別院 小樽市若松1丁目4番17号 ☎0134-22-0744 FAX 0134-29-4080



みんな

小樽幼稚園

仲良し



～まこと(いのち)の保育を行っています～



幼稚園の運動会において境内地で練習です。曲に合わせて跳ねて走って上手に踊れるかな？

園児募集

途中入園可能

- 募集園児 3歳児
(H16.4.2～H17.4.1生まれ)
- 4歳児
(H15.4.2～H16.4.1生まれ)
- 5歳児
(H14.4.2～H15.4.1生まれ)

願書受付 新入園受付中です。
※事前に御連絡下さい。



※詳しくは、入園案内をごらんください。

学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

小樽幼稚園 TEL FAX 0134-22-6536

広告募集

「おたる西別院だより」に掲載して下さる商店や業者等を募集しております。
詳しくは 0134-22-0744 別院だより担当者：森までご連絡下さい。